

活動の分野・種類・事業	活動・事業の内容	歴史・あゆみ	協力者・グループ等の名称	備考:必要な知識・技術・経験等
子ども読書活動推進関連		H17「豊中市子ども読書活動推進計画」策定		
子どもと本のまつり・つどい	おはなし会や手づくり工作など通じて本や図書館に親しんでもらう「子どもと本のまつり」、子どもや子どもの読書に関わる講演会・ワークショップなど、子どものそばにいる大人に子どもの読書の楽しさや大切さを伝える「子どもと本のつどい」を豊中市子ども文庫連絡会と共催。	S46「子どもの本を読む会」発足（「豊中市子ども文庫連絡会」（以下「豊子連」）となる） S51「豊子連」が「子どもと本のつどい」開催（→S61より図書館との共催事業となる） S56「豊子連」と図書館が「子どもと本のまつり」を共催	豊中市子ども文庫連絡会加入の各文庫他	それぞれのグループの中での活動実践経験の蓄積・研修・研鑽が求められる
よみきかせ・おはなし	子どもたちに絵本やおはなしの楽しさを知ってもらえるよう、定期的に図書館や放課後こどもクラブ等でおはなし会を開催。	H5おはなしボランティア養成講座開始（現在の子どもと本をつなぐボランティア講座）→おはなしボランティアグループ結成→後に「おはなしボランティアポケット」と命名	子ども文庫 おはなしボランティアポケット 豊中紙芝居の会 野畑おはなしの会 千里ストーリーテリングの会 おはなしたんけんたい おはなしたまてばこ 紙芝居クラブともだちや	それぞれのグループの中での活動実践経験の蓄積・研修・研鑽が求められる
ブックスタート事業「えほんはじめまして」	4か月児健康診査会場で、赤ちゃんにとって親子のふれあいや温かい語りかけが大切なこと、一緒に絵本を読み合う楽しさを伝える事業。図書館や文庫など地域で子育てを支援していることを理解してもらうきっかけとする。	H15「えほんはじめまして」試行実施→H23ブックスタート事業「えほんはじめまして」（絵本プレゼントあり）となり、ボランティアスタッフを募集	豊中市子ども文庫連絡会 おはなしボランティアポケット	それぞれのグループの中での活動実践経験の蓄積・研修・研鑽が求められる
多文化共生(多文化子育て支援)	「おやこでにほんご」子育て中の外国人の方が、子どもを連れて安心して参加できる情報交換の場。岡町図書館・庄内図書館・千里図書館で活動の場を提供。	子ども読書活動推進計画の領域のひとつ、外国人の子どもたちへの取り組みとして位置づけ	国際交流の会とよなか(TIFA) おかまちおやこでにほんご しょうないおやこでにほんご せんりおやこでにほんご	それぞれのグループの中での活動実践経験の蓄積・研修・研鑽が求められる
障害者サービス関連				
音訳ボランティア	障害による活字読書が困難な方のために「声の図書」の作成。	自発的なグループ(市の委託事業を受託するなど)が豊中市立図書館を拠点として活動 H5録音図書作成講座実施→H5音訳ボランティア「グループ・エコー」結成	大阪声のグループ グループエコー	それぞれのグループの中での活動実践経験の蓄積・研修・研鑽が求められる
点訳ボランティア	障害による活字読書が困難な方のための「点字図書」の作成。	自発的なグループ(市の委託事業を受託するなど)が図書館活動に協力	豊中点訳会	それぞれのグループの中での活動実践経験の蓄積・研修・研鑽が求められる
対面朗読ボランティア	活字読書が困難な方への対面朗読サービスの実施。	H3対面朗読講座実施→H3対面朗読グループ「ヴォイス」結成→解散後、個人で図書館の対面ボランティアに登録	個人 (大阪声のグループ) (グループエコー) ((元)ヴォイス)	それぞれのグループの中での活動実践経験の蓄積・研修・研鑽が求められる
市民協働事業市民提案制度で事業化されたもの				
しょうないREK(R:リサイクル・E:イベント・K:瓦版(情報))	リサイクル本販売の収益で多文化共生・地域の活性化につなげる事業を実施	H16豊中市協働事業市民提案制度（「地球ママくらぶ」が「リサイクル本の活用による図書館の活性化と地域における共生を推進するための事業」を協働提案） H17検討開始 H19「しょうないモデル事業実行委員会」が「しょうないREK」に改称 H24『しょうないREKのキセキ』発行	地球ママくらぶ、コミュニティ政策課、庄内図書館、環境政策課、南部地域連携センター、六中校区地域教育協議会、(公財)とよなか国際交流協会、NPO法人とよなか市民環境会議アジェンダ21	販売のほか、イベント企画、かわら版編集など多様な活動であり、内容によっては経験の蓄積が求められる
地域情報デジタル化関連				
北摂アーカイブス(フォトエディター)	「地域の記憶を地域の記録へ」を目的として、地域の写真を収集・整理・編集し、情報発信を行う。	H21文部科学省「図書館における知の拠点事業」受託 H22北摂アーカイブス公開開始 市の単独事業に	地域情報アーカイブ化事業実行委員会(フォトエディター)	経験・研修・研鑽が求められる
地域教育協議会・校区・千里コラボの事業 各図書館が地域の一員として参加し共に取り組むもの 各館・各校区において展開中				
千里コラボの事業	市民主催の事業 千里コラボ大学 多文化カフェ 映画を観て語り合うトーク会 千里親子ふれあい広場など 図書館は、関連資料の紹介・貸出を通じて、PRIにつなげる	H20千里文化センター「コラボ」オープン	千里文化センター市民実行委員会 赤ちゃんからのESDとよなか	各地域における活動が土台となり、地域への関わりが求められる。 経験・研修・研鑽が求められる
その他				
S35「動く図書館利用者の会」発足(S53「図書館利用者の会」となる) H15「豊中図書館の未来を考える会」発足 H17「新しい千里図書館・公民館のあり方を考える市民井戸端会議(仮称)」設置 (→「豊中市新千里図書館・公民館創造会議」と改称) 未来の会との共催による合同研修の実施「図書館のカー住民に必要とされる図書館をめざして」	S38「とよ読書会」発足 H16「豊中図書館の未来を考える会」が「千里のまちにふさわしい図書館構想をつくる一人と情報、人と人を繋ぐ図書館」を協働提案		豊中市立図書館利用者の会 豊中図書館の未来を考える会 朗読グループ草の実会 読書会	それぞれのグループの中での活動実践経験の蓄積・研修・研鑽が求められる